



阿武郡報

第二十一號

大正六年十二月十九日第三種郵便物認可 (每月壹圓十五日發行)

松陰先生獄中最後ノ書簡

平生ノ學問淺薄ニシテ、至誠天地ヲ感格スル事出來不申、非常ノ變ニ立至リ申候、嗚々御愁傷モ可被遊拜察仕候

親思ふ心にまさる親心

けふの音つれ何とさくらん

乍去去年十月六日差上置候書、得ト御覽被遊候ハ、左マテ御愁傷ニモ及不申ト奉存候、尙又當五月出立ノ節心事一々申上置候ニ付、今更何モ思殘候事無御座候、此度漢文ニテ相認候語諸友書モ御覽可被遊候、幕府正議ハ丸テ御取用無之夷狄ハ縱横自由ニ御府内ヲ致跋扈候得共、神國未タ地ニ墜不申候上ニ

聖天子アリ下ニ忠魂義魄充々致シ候得ハ、天下ノ事モ餘リ御力御落無之候様奉願候、隨分御氣分御大切ニ被遊、御長壽ナ

御得可被成候 以上

十月廿日 認置

寅二郎 百拜

家大人膝下
玉大人膝下
家大人座下

兩北堂様隨分御氣体御厭專一ニ奉存候、一私被誅候共首マテモ葬吳候人アレハ、未タ天下ノ人ニハ棄ラレ不申ト御一笑奉願候、一兒玉小田村久坂ノ三妹ハ五月ニ申置候事忘レヌ様御申聞奉願候、吳々モ人ヲ哀ムヨリハ自ラ勤ムルコト肝要ニ御座候、私首ハ江戸ニ葬リ一一家祭ニハ私平生用候硯ト去年十月六日呈上仕候書トヲ神主ト被成候様奉願候、一硯ハ已酉ノ七月カ赤間關廻浦ノ節買得セシナリ十年餘著述ヲ助ケタル功臣ナリ

松陰二十一回猛士トノ御記シ奉願候

大正七年四月十四日印刷
大正七年四月十五日發行

發行所 山口縣阿武郡役所

印刷所 山口縣阿武郡萩町
第二千二百六番屋敷
株式會社萩響海館



◎戰後準備

□公有林野ノ整理

本縣に於ける戦後準備共勵事項の一たる公有林野の整理は我阿武郡共勵事項中最も重要な案件なり就中林野の入會は既に全部の解決整理を告げたり而して整理區分に對しても亦急速完成を期すべく大正六年十月十五日整理に着手し爾來今日に至る迄整理區分を了したるもの椿村を卒先とし椿郷東分、山田、三見、佐々並、篠生、生雲、地福、高俣、吉部、福川、紫福、大井、奈古、宇田郷、彌富、田万崎の十七ヶ村にして現時整理中に屬するもの明木、川上、徳佐、福賀、小川の五ヶ村なりとす而して萩及六島、見島の各町村は林野を有せず嘉年、須佐の各村は未だ整理に着手するに至らざるも芝本本縣林業技手は川上、明木の各村に田口同技手は小川村に松田同技手は徳佐村に何れも臨檢指導中なるが故に本月廿日迄には郡内全部の完了を見るに至るへし

◎庶務

□町村長集會

三月十五日日本郡町村長集會に於て指示したる事項左の如し

指示事項

- 一、青年團壯年團と帝國在郷軍人分會との聯絡關係に關する件
- 二、民資充實に關する件
- 一、中央報德會協議事項恩賜記念事業資金募集の件
- 二、防長靖獻會寄附金募集の件

□明治神宮進献木發送狀況

明治神宮御造營御内定と共に其境内に栽植すべき樹木の一部は汎く地方の個人又は團體より進献することを経容せらるゝや本郡に於ては左記の通献納すべく赤松は全部佐々並村地内よりつげは全部大井村地内より選定し村農會は各其村適當なるものを選定することに決定し大正五年根廻に着手爾來之か管理保護に至大の注意を拂ひ赤松及つげは三月二十四日近藤本郡林業技手監督の下に堀取及荷造に着手同三十日終了し村農會に對しては各自施行せしめ孰れも三月三十一日山口驛に於て受領し直に發送すべく金子郡書記は同日山口驛に出張せり進献木は豫定

の日時全部到着せしを以て四月一日審に之を檢査し荷造の不充分なるものに對しては夫々改造を了し四月二日瀛車積の豫定にして豫て所要貨車の請求をなし置きたりしも當時貨物の輻湊と進献木の發送は各地とも殆んど期を同ふし爲に無蓋貨車の拂底を告げたり然るに山口驛長及丸山運送店等の幹旋盡力に依り同日午後十一時三田尻驛より一貨車翌三日午前十一時廣島驛より二貨車到着共に最も町重に積載爲し同日午後六時敏速確實に發送を了したり

進献木及進献者

進献者	赤松	つげ	松、檜、椎	計
町村	二七 _本	二七 _本	一 _本	五四 _本
郡農會	一	五〇	一	五〇
村農會	一	一	二三	二三
在郷軍人分會聯合會	三	一	一	三
計	三〇	七七	二三	一三〇

□條例許可

大正七年一月二十一日 見島住民印鑑に關する條例

◎學事

□小學校長集會

三月十五日より同十八日に至る四日間開催の郡内小學校長集會に於ける指示事項其の他左の如し

指示事項

一、青年團の指導に關する件

本縣戦後準備共勵事項中の重要事件たる青年團の改造は客年八月本縣知事の訓令に依り本郡は更に青年團設置要項並に準則を定め其の指導方に關し指示するところありしが爾來各位の幹旋努力により今や郡内各町村悉く其の改造を見るに至れるは欣喜に堪へざるどころなり惟ふに青年の精神涵養、知識、補習、体力鍛鍊は日を遂ひて益々緊要なるを感ず。本縣の此の斷行は獨り縣の幸福のみならず寔に國家の慶事あり客月十四日防長紙上に於ける山縣老公が知事に致されたる書翰は各位既に熟讀含味せられし所あるべし現代我が國勢の容易ならざる点よりは勿論先輩の遺志を紹述するの点よりも最善の教訓たるものなり。各位益々深甚の注意を

拂ひ其の發達に對し極力盡瘁せられんことを望む。

二、實業補習學校教育振興及同校規則改正に關する件

青年子弟をして其の職業に要する智識技能を修得せしめ同時に普通教育の補習をなさしむるは、小學教育を完成徹底せしむる所以にして、地方の發展國力の充實上頗る緊要の事に屬し、殊に、戦後の國民教育上一層青年元氣の作興と共に極力、就學出席を督勵し、補習教育の成績をして向上ならしむるを要す。

本郡は客年七月に於て修業年限八年のものに、六校を算し、爾來續々改正又は設置の手續を了せられたるものあるも、尙、規則改正未了の向あれば別記準則に據り速に、知事の認可を得べく相當手續あらん事を望む。

三、青年團壯年團と帝國在郷軍人分會との聯絡關係に關する件

今回本縣に於ては山口、岩國、小倉、各聯隊區と協議を遂げられ青年團壯年團と本縣に於ける帝國在郷軍人分會との聯絡關係左の通り決定せられたる趣なり。

青年團壯年團と帝國在郷軍人分會とは實に唇齒輔車の關係を有し相互提携して地方の健全なる發達を圖るは寔に切要の事に屬すれば將來此の趣旨により各團體益々同心協力各其の目的を達成する様一層幹旋盡力せら

れんことを望む。

在郷軍人會と青年團壯年團との關係

一、青年團に於ては、團員補習教育の一部として徴兵検査を受ける年の、一月より九月迄に帝國在郷軍人分會と協力して壯丁教育を完了すること。

二、帝國在郷軍人分會に於ては、徴兵検査終結處分後、入營すべき現役兵並に入營せざる補充兵に對し、軍事上必要なる教育を行ふ但し、青年團長、町村長、小學校教員は相當の援助をなすこと

三、帝國在郷軍人分會正會員は悉く壯年團員たること
四、帝國在郷軍人分會と壯年團とは可成、共同一致の態度心得を執るべき趣意にて其の、了解の下に事業并に經費收入の方針を左の如く定む

帝國在郷軍人分會規約第十五條の事業中、第十八第九號に掲げられたる公益事業の補助、風教の改善、産業の發達に關する事業は總て壯年團として施行すること

第六號軍人精神の修養、軍事學術の研究、教練及体育、第十四號入營者及補充兵の豫備教育第十五號機關雜誌の普及、第十六號徴兵検査簡閱點呼參加者の指導に關する事業は、在郷軍人分會として之を施行すること

其他の事業例へば、三大節に於ける遙拜式、勅諭勅語捧讀式、陸海軍記念日の祝典、招魂祭等は帝國在郷軍人分會又は帝國在郷軍人分會壯年團共同して之を施行すること

五、壯年團として爲す事業の經費は、團の事業より生ずる收入、團員の醵金等を以て之に充つ

但し、帝國在郷軍人分會員にして、壯年團員たる者の醵金額は其の他の者より若干減額することを得
地方公共團體は青年團、壯年團、帝國在郷軍人分會に對し、必要と認むる場合は相當の補助をなすことを得

四、報德會指導に關する件

郡内各町村報德會數四百五十に上り、全郡殆んど組織せらる、報德會行事の主要なる事項は毎月開會、家族全部の出席、開會時刻の勵行、儀式舉行方の嚴肅、實行事項の協議を確實にすることにして講演は、智恩報德の思想を涵養し、實行事項の遂行を獎勵するの外安りに、多岐長時間に涉り會員をして倦怠せしめざらん事に特に留意し、本會設立の趣旨目的を貫徹するに一段の努力あらんことを望む

五、分教場監督に關する件

校長は少くも毎月一回分教場に出張し校長巡視簿を備へ付け指示注意の事項を記載し且つ常に本校との連絡に留意せらるへし

注意事項

一、上級學校進學者に關する件

二、町村教育施設に關する件

三、大正七年度郡事業施設に關する件

諮問事項

一、兒童就學及出席獎勵法に關する件

二、教育品展覽會開催方法に付意見を問ふ

協議事項

一、小學校儀式舉行方に關する件

二、小學校教員配置及學級編制に關する件

三、實業補習學校教授材料に關する件

四、郡青年團學力調査執行方に關する件

五、阿武郡教育會員増募及會費未納整理に關する件

六、山口縣教育會員會費未納整理に關する件

七、赤十字社員年醵金及愛國婦人會員會費納入に關

する件

- 八、水産會社員養成に關する件
- 九、松陰神社神苑擴張寄附に關する件
- 十、山口縣農業教育會員募集に關する件

小學校優良兒童賞與

本年三月本郡各町村小學校卒業兒童にして身體強健平素精勤操行善良學業成績優秀なるものに對し本縣知事及本郡長より賞狀及賞品を授與せられたるもの左の如し

本縣知事賞與 (漢和大辭典壹部宛)

明倫	尋卒	笹井ヒナ
高俣	同	堀田熊一
宇田	高卒	吉村恒助
彌富	同	兒玉 惺
育英	同	山根武雄
德佐	同	波多野 長

本郡長賞與

尋卒 國語 漢文 研究新辭典一部宛
高卒 言 海一部宛

校名	尋常科卒業兒童	高等科卒業兒童
明倫	竹内忠雄、頓野孝夫、北村三郎、福永ツル、志賀ヒナ	澄川孝子、岩倉律子、吉田猛、藤原寛一
椿東	横山秀雄、御園生雅夫、久保花子、村木勘三郎	安達鶴松、中村ヒサコ
越ヶ濱	白石治郎	
椿西	幸坂竹松	大山スエ
白水	三井武雄、鈴木フサ子	角屋養吉
木間	木村マスヨ	
三見	吉田勇	福本仁藏
佐々並	河村タツ、田坂千代一	井關玉子、山本武夫、大石タキ子
野戸呂	阿部タケ	德重ツネ、河村新一
篠生		
篠目	谷口益人	
持坂	伊藤シヅ子	宮原常戸
生雲	金子ナツ、寺山喜久一	
藏目喜	栗田之勝	三輪正雄
地福	湯原龜丸	
德佐	山根ハツコ、田村俊子	
龜山	阿武儀一	山村シロコ
嘉年		

一、編成及び就學

福田實業補習學校情況

高俣	岡崎ヒサコ	藤井恒、藏田義三郎
吉部	倉田幸保	箭島薫
福川	佐々木好熊	
半田	柴田五郎一	
紫福	金子倫价	藤山行雄、財満俊秀
大井	松浦キク	古屋眞一
奈古	鈴木桂一、齋藤仁代	永安源二、大深基
宇田	齋藤慶一	中野保一
福田	小瀧敏子、長嶺康衛	末益伊勢熊
育英	大橋一夫、吉村繁松	大玉千代子
彌富	鈴川ヒサ子	長谷川ツネノ
小川	青原常雄	田村隆夫、安田百合二
上小川	岩本龍太郎、田村シズ子	
下小川	下龜馬、笹倉仁一	
多磨	野稻一夫	
大島	伊藤美男、安江五子	堀野栞子
見島	新山不二雄	濱野ヨシエ
合計	五十名	三十三名

修業年限を八ヶ年とし豫科二ヶ年、本科六ヶ年にし
て尋常科卒業生を豫科第一學年に豫科を修了したる
者及び高等科卒業生を本科第一學年に編入す
(大正六年十二月改正)

二、教授季節及び授業日數

九、十一、十二、一、二、三の六ヶ月毎月五日間合
計三十日

備考 改正規則に依れば授業日數五十日以上となり

季節にも多少の相違あれども改正前九月より
授業を開始し教材等も舊規則に依り配當した
るが爲め本年度に限り教授季節及び教授日數
は舊規則に據れり

三、授業時間及教授時數

九月 夕學 午後五時より全八時迄毎日三時間
十一月 朝學 午前五時半より全八時半迄 全前
十二月、一月、二月、三月、晝間教授 午後三時
より全六時迄 全前

四、青年團員と補習學校生徒數との比較

現在青年團員 百二十五名
現在補習學校生徒數 八十六名
生徒數の團員に對する百分比 六八、八〇

五、本年度内月別出席歩合
九月 六、三三 十一月 七、三三 十二月 八、六五 一月 七、五五 二月 七、五三 三月 未詳

六、教科課程表

教科 目	年 級	豫科		本科					
		第一學年	第二學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	〇、五	普通徳の要旨 普通の作法	全上	〇、五	普通徳の要旨 普通の作法	全上	全上	全上	全上
國語	三	日常須知の文 字及普通文の 讀方書方綴方	全上	二	日常須知の文 字及普通文の 讀方書方綴方	全上	全上	全上	全上
算術	三	整數小數諸 等數、分數、 珠算加減乘除	全上	二	整數小數諸 等數、分數、 珠算加減乘除	全上	全上	全上	全上
農業	二	農業大意	全上	四	地方と適切なる 農業、蠶業、 副業、農林業、 其他一般農業 及農業法	全上	全上	全上	全上
体操	〇、五	遊教體 戲練操	全上	〇、五	遊教體 戲練操	全上	全上	全上	全上
計	九			九					

備考 右は改正せる課程表なれば本年實施のものとは教授時數に多少の相違あり

七、學級數及擔任教員

學 級	名	學 年	生徒數	教 科	目	擔 任 教 員
第一學級 (本校)	本科第一、二	三四		修身、農業、体操	訓導	吉岡恒郷
第二學級 (本校)	豫科第一、二	二三		國語、算術、 修身、農業、体操	全	仁保義助
第三學級(宇生賀分教場)	豫科第一、二	一三		國語、算術、 修身、農業、体操	全	吉岡恒郷
第四學級(飯谷分教場)	豫科第一、二	一六		國語、算術、 修身、農業、体操	全	秋枝實冬
備考	第一學級及第二學級の修身、農業、体操は合同教授をなす但し農業の合同教授は本年度に限る本科に第三學年以上の學年無きは正五年度に於いて始めて入學したる者のみなるがためなり					

教科書及教材

修身主要教材 青年團實業補習學校に關する訓令、
山縣老公の林前本縣知事に送れる書翰、時局に關する
訓話、週發事項に關する訓話、優良青年團及團員の美
蹟善行

國語 教科書農村青年夜學讀本(高山秀雄編)後篇

備考 前年度に於て尋常高等兩卒業生共前記讀本の
前篇を使用したるを以て不得止本年度に於い
ても教材の聯絡上本科豫科とも同一教科書を

使用したり

算術 豫科本科共主として小學校にて既習せし事項の
復習をなし多少の新教材を課したり
農業主要教材 特用作物、造林法、畜産、肥料及び作
物病虫害等主として本縣戰後準備共勵事項に因る教
材を課したり
体操 主として陸軍戸山學校に撰定せる青年團体操
及全遊戯等を課し尙角力、徒競争等を練習せしめたり

大正七年度豫定

一、編成及び就學
前年度に全し

二、教授季節及び教授日數

四月：九日間 十二月：九日間 一月、二月 各十
二日間 三月：九日間 合計 五十一日間

三、授業時間及び教授時數

四月 朝學午前五時より全八時迄三時間
十二月、一月、二月 晝間教授午後二時より
全五時迄 全前

四、就學歩合及出席歩合の上進

大正六年度は前年度に比し就學、出席兩成績共に上
進せるも實際に於いて當然就學すべき年齢にある青
年團員にして未就學のもの甚だ多きは遺憾なり
本年度に於いては左の方法により就學出席兩成績の
向上増進を期す

- (1)、強制に依り准義務的に就學の督勵をなす
- (2)、他家に傭はれたる者に對しては雇主に交渉して
教授日數の三分の二以上出席せしむべきことを
約せしむ
- (3)、缺席生徒に對しては其の都度青年團及び壯年團
支部長に通知を發して督促せしめ尙出席せざる

時は教員自ら督促をなす

- (4)、缺席生徒に對しては必ず其の理由を届出でしむ
- (5)、各部落別に就學及出席の歩合を表示して各所に
之を公示す

五、學級編成及び擔任教員

學級數及び其の編成は前年度に全し尤も進級の結果
第一學級に本科第三學年を編入することとなる、
擔任教員は大正前年度と同一配置となさんとす但し
本年度福賀村農會に農業技術員を置く豫定なれば若
し實施の結果適當なる人物ならば本校農業科擔任囑
託したる希望なり

六、教科書及び教材

國語教科書 本科用、帝國青年讀本（小谷重編）
高等前編 豫科用、全 前 上卷
農業 豫科には本縣教育會編纂小學校用農業教科書
卷一を用ふ本科は地方に適切なる教材を選択して教
授せんとす
修身、算術に就いては目下教材選擇中なり
体操 前年度と略同し
備考 前掲國語教科書は分量餘り多からず隨て地方
的教材及び時事教材を時々挿入して其の不足

を補はん考なり

◎ 産 業

□ 郡設製炭傳習狀況

三月二十一日より四月三日に至る十四日間高俣村に於て
郡設製炭傳習を開催す教師は原田本縣林業技手にして傳
習生十四名中四月三日修了證を交付したる人名左の如し

高俣村	中野忠市
同	加藤茂七
同	大田廣富
同	上村駒二
同	吉村太郎
同	片山孫一
同	有田治郎
同	倉増音市
同	山本唯道
同	木村友市
福賀村	

□ 六郡聯合新酒品評會

四月六日より同十日に至る五日間秋稅務署に於て阿武郡

酒造組合主催に係る第四回吉敷、厚狹、豊浦、美禰、大津、
阿武六郡聯合新酒品評會を開催せり之れか審査長は時
岡山口縣工業技師にして審査員は都濃郡福川村松田、佐
波郡防府町守田、厚狹郡須惠村繩田の諸氏之に當り審査
の成績左の如し尙秋實業組合は此機會を利用し書畫展覽
會を開設し及秋町附近の物産を一場に蒐集陳列して即賣
を爲す等大に協賛の意を表したり

出品及受賞者郡別表

郡別	醸造戸數	出品人員	出品點數	受賞點數	出品點數二 對比受賞
吉敷郡	三六	一六	二四	一一	一五
厚狹郡	三元	一二	一五	一一	五五
豊浦郡	六七	二九	五三	一三	七六
美禰郡	二四	一〇	一四	一一	一五
大津郡	三〇	二五	五二	一一	二五
阿武郡	五九	五一	九三	五八	一六四〇
計	二五五	一四四	二四九	七二四	三六七九

因に優等及壹等受賞者 酒名、住所、氏名左表の如し

優等	七點	賞	受	名
酒名	住	所	氏	者
イ號白菊	阿武郡椿村	山根鐵藏		
ロ號東雲	阿武郡山田村	上利久一		
イ號東雲	全	全		
菊の露	阿武郡大井村	山根辨作		
美禰ノ花	美禰郡西厚保村	三戸虎三郎		
扇鶴	吉敷郡嘉川村	田村常助		
ハ號長陽福娘	阿武郡萩村	岩崎小左衛門		
壹等	十四點			
二號神の泉	阿武郡紫福村	原松太郎		
イ號白菊	阿武郡椿村	大津友太郎		
ロ號梅の友	阿武郡福川村	岡十郎		
紅霞	美禰郡眞長田村	田熊悦三郎		
玉の譽	豐浦郡内日村	村田長一		
玳の譽	豐浦郡長府町	倉重平七		
イ號さよなみ	阿武郡佐々並村	木村甚一		
ロ號長陽福娘	阿武郡萩村	岩崎小左衛門		
ロ號四季の友	全	山田治郎		
イ號梅の友	阿武郡福川村	岡十郎		

ロ號浦島	大津郡仙崎町	濱野惣次郎
志ら露	阿武郡椿村	合名 高山商會
日の出開運	豐浦郡神玉村	伊良原幸助
太陽	吉敷郡鑄錢司村	瀧上酒造合資會社
貳等	二十二點	
參等	三十六點	

兵事

視察記

三月五日より京都第十六師團及岡山第十七師團管下在郷軍人會の狀況を視察せしに時局の關係もあらんか町村揭示場及特設揭示板に在郷軍人分會の集會日時講演或は奉公袋購入申出方等公告しありて分會の活動及在郷軍人個人の意氣に於て著しく緊張しあるを認めらる京都市下京區聯合分會に於ける大正七年度の事業豫定別表の如し京都府下及岡山縣下に於ける多くの町村は新に入營する者に對し町村費の補助を以て軍服として柿色の小倉服肩章なきもの(一著約六圓位)を贈與入退營の際は勿論満

月別	聯合分會	協	聯合分會	聯合班	分	會
四	評議員會(決議附議) 同(任期満了役員推薦)	戰病死者追吊法會 廢兵及遺族慰安招待會	協議會(班長推薦)		評議員會(決算附議) 評議會(任期満了役員推薦)	
五					海軍紀念日祝典	
六		徵兵壯丁豫習教育ノ準備計畫				
七						點呼豫行演習
八						
九						

大正七年度事業豫定表

帝國在郷軍人會下京區聯合分會

期後簡閱点呼或は軍人會の總會等には必ず之を着用することとなり居れり富者華美に流れず細民は紋付袴等新調するの苦心なく動作及服裝の一定に於て其成績最も良好なり
岡山縣下に於ては郡聯合分會に對し郡費を以て補助するものあり兒島郡の三百圓川上郡の二百五十圓御津郡の八

十圓等にして多くは銃劍術防具購入し各分會及聯合分會集會の際貸與す
分會長の内其功績顯著なるもの或は會員中の善行者を表彰することあり御津郡に於ては大正六年度に於て分會長一名に硯箱壹個代貳圓五拾錢分會に喇叭壹個代參圓又或は分會に金五圓を賞與せり

一〇	天長節祝日遙拜式 及勅諭勅語奉讀式	愛宕登山 (行程往復九里)	教育
一一	入退營者ノ送迎準 備計畫新會員入會 式右同	入退營者送迎式	
一二	海軍ニ關スル講話會	懇話會 (新會員始メ ト絶對ニ)	新會員入會式
一	耐寒夜行軍 (至鞍馬山行程往復九里)		新年遙拜式及勅諭勅語 奉讀式新年名刺交換會
二	評議會 (年度事業 豫定表附議)	協議會 (年度事業 豫定表附議)	紀元節勅諭勅語奉讀式 評議會 (年度事業 豫定表附議) 陸軍紀念日祝典 評議會 (豫算附議)
三	評議會 (豫算附議)		評議會 (豫算附議)

備考

一、徴兵壯丁豫習教育は日曜、水曜夜二時間宛とし行軍兵營見學等は地方の一般休日とす
二、點呼豫行演習は參會日の都合に依り八月に實施することあり又此機會に貯金獎勵の豫定なり

在郷軍人の善行

阿武郡大井村
後備役陸軍歩兵一等卒 齋藤 眞
同郡 全村
豫備役陸軍歩兵一等卒 和田 駒吉
右者大正六年十一月六日所用ありて阿武郡須佐村に趣か
んとし奈古村大字木與に於て晝食を喫し午後二時宇田郷

村大字田部を通過するに當り前面海岸遙か沖合に於て一
の大なる漁船の暴風の爲漂流するを發見し同行七人を指
指揮し人の止むるを聞かす漁人の將さに波浪の爲めに難
船するを見るに忍びず特に同業者の事なれば寸時も看過
すへからずとなし田部より漁船を借り受け暴風を事ども
せず之に乗して沖合の難破船に趣き之に近かんとすれど
も能はず依て躊躇せず折柄の雪を冒して海中に跳り入り

漸くにして難破船に乗り移り見るに一人は未だ生存し居
たるも他は如何しけん屍体三個船中にあるのみ故に二人の
生存者を背負ひて再び海中に入り漸く借り受けたる船中
に入れて七人協力して田部に歸り一軒の家を借りて焚火
をなし温めたるに全く蘇生したれば之に粥食を進むるに
久しく斷食して饑餓に陥りたるもの俄かに食事を取りた
る爲めならん又々昏睡に陥りたれば醫師を連れて之を蘇
生せしめ初めて椿郷東分村字鶴江の者にて同乗者九人な
ることを確め三人の屍体は船中にあるも五人の屍体は行
衛不明となりしこと明白となれり依て此日は須佐村行を
中止して難破船の海岸に近きて激浪の爲に破壊せんこと
を憂ひて之に乗りて椿郷東分村字鶴江迄漕送したり因に
右船所有者並に乘組員の住所氏名左の如し

死亡者 椿郷東分村字鶴江 岩 崎 幸 助
(船所有者)
全 全 村 木 恭 助
全 全 宮 田 周 助
全 全 吉 村 堅 一
全 椿郷東分村字香川津 山 根 吉 郎
全 萩町大字東田町新堀 宮 内 百 合 松
全 彌富村字蒲原 末 成 傳 吉

視察記

阿武郡書記 植 村 茂 作

大正七年三月八日より九州地方視察をなしたる處就中福
岡縣久留米市に於て昨年六月改正實施せる縣稅戶數割等
差議定標準は從來他に設けられたる如く其調査困難なら
ず而して稍適切に分賦をなし得るの感あり本郡各町村に
於ても之れか調査の至難にして未だ適切なる標準を得ざ
る向なきにしもあらず就ては今回同市に於て視察せし處
を記し將來施設改訂を加へらるへき町村の爲め聊か參考
に供せんとす
一久留米市は元と優良市として表彰せられたる處にして
爾來星移り月變り市政に變調を來し數年前より多少の
滯納者を出すに至れるを以て市當局は之れか救済に努
むると同時に一方戸數割の分賦を適切ならしめんと大
正六年六月戸數割等級設定規程を改正實施せり其内容
左の如し

一標準の種類

地域、建坪、所得額

地域は土地の状況を調査し全市を廿五級に分てり最高廿五點最低一點とせり調査の方法は市役所に於て三名の調査委員を設け現狀調査をなし先づ精密なる圖面を作り相當等級を附し更に市會に於て七名の調査委員を選ひ更に踏査し以て初めて市會に提出し茲に等級の決定を見る

建坪は普通貳坪を一点とし湯屋の浴室居室の二階以上製造場工場倉庫等の坪数は四坪を以て一点とし計算し点數を定む

所得額は所得税納税者の所得決定總額に依り之を計算し六百点より三点迄の十八級に區別し点數を定む以上三種の点數を加算し更に賦課率表一等より四十等に區別し賦課點數を算定し之に依り相當分賦を定む

左に久留米の現行規程を掲ぐ

久留米市戸數割等級設定規程

第一條 戸數割は縣稅規則に依り等級を設け之を賦課す
第二條 戸數割等級は地位建物の坪數及所得額を標準とし之れを四十等に區分し各戸の負擔額を定む

第三條 所得稅法第九條の所得決定額は參千圓以上のもの又は市長に於て同額以上の收入ありと認むるときは其標準となるべき資力を調査し賦課率表に示す等級に依り之を定む

第四條 地位の點數は門戸又は出入口を開設せる地を基礎とし別冊の通り定む

第五條 建物坪數は左の區別に依り之を定む

- 一、居室（離座敷、隱居家、醫務室、病室並に階上住居者を包含す）の坪數は戸締を以て限りとし貳坪毎に一點として算定す
- 二、居宅地外にある炊爨を爲さるる家屋支店營業所の類は其坪數及地位點數を居室に合算す
- 三、湯屋の浴室居室の二階以上並に製造場工場倉庫等の坪數は四坪毎に一點とし算定す
- 四、社寺教會説教所等にして直接祭典法要禮拜説教等に使用する建物坪數及浴室便所並に戸締外に於ける雜建物坪數は點數に算入せず

第六條 所得額は前年度所得決定總額を基礎とし左記の如く定む

但し家族及同居者の所得と雖も之を合算す

所得點數表

点數	所得額	点數	所得額	点數	所得額
六百点	一万五圓以上	三十六点	二千圓以上	十二点	九百圓以上
五百点	一万圓以上	三十二点	千八百圓以上	十一点	八百圓以上
四百点	七千圓以上	二十八点	千六百圓以上	十点	七百圓以上
三百点	五千圓以上	二十四点	千四百圓以上	九点	六百圓以上
二百点	三千圓以上	二十点	千二百圓以上	八点	五百圓以上
一百点	二千圓以上	十六点	千圓以上	七点	四百圓以上
四十点	二千圓以上	十六点	千圓以上	三點	四百圓以上

所得稅施行地外より轉住其他の爲め前年度所得決定額に因り難きものは現在の所得額に因り算定す

第七條 各戸の負擔額は地位、建物、所得額の各點數の和を以て合得點とし左表に據り之を定む

但合得點にして五等以上に昇るときは所得額のみによる等級と比較し高位の等級に據る

賦課率表

等級	賦課個數	合得點數	所得高	等級	賦課個數	合得點數	所得高
一	1,000	六百点以上	一五萬圓以上	五	3,300	三千點以上	三萬圓以上
二	2,000	五百点以上	一萬圓以上	六	4,000	二千點以上	二萬圓以上
三	3,000	四百点以上	七千圓以上	七	5,000	一千點以上	一萬圓以上
四	4,000	三百点以上	五千圓以上	八	6,000	六百點以上	一萬圓以上

九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇
八五十五點以上	八五十點以上	八四十五點以上	八四十點以上	八三十五點以上	八三十點以上	八二十五點以上	八二十點以上	八十五點以上	八十點以上
二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四
一四十七點	一四十六點	一四十五點	一四十四點	一四十三點	一四十二點	一四十一點	一四十點	一三十九點	一三十八點

第八條 各等級の賦課個數を其戸數に乘して得たる個數の和を以て賦課總金額を除し一個に對する賦課額を得

之を各等級別賦課個數に乘し一戸の負擔額を定む

第九條 戸數割負擔の義務ある陸海軍々人軍屬にして現役中のもの及戰時若くは事變に際し召集中のものは市會の決議に據り除等することあるべし

第十條 極貧にして納税の實力なきものは其事實を調査し市長は之を降等することを得

第十一條 本規則中地位點數は四ヶ年毎に査定するものとす

附 則

第十二條 本規則は大正六年度後期より執行す

元鳥飼村地域内戸數割等級設定規程

第一條 戸數割賦課等級は三十五等に區分し左記物件に依り年度の始期に於て等級を定む但該年度内に於て合計點數三分の一以上の變動を生じたる場合は相等級に組替ふるものとす

一、地租 所得税 國稅營業稅

一、縣稅營業稅 全雜種稅 但日稅月稅を除く

一、住宅及住宅坪數

一、農作反別

一、報酬給料年金恩給

第二條 本地域内へ原籍を有せざる寄留の現役軍人は前條物件の標準に依らず第三號表に依り等級を定む

第三條 採點單位標準は第二號表に依り合計點數點未滿は四拾五入の法に依る

第四條 所得稅營業稅は最近の納稅年額に依ると雖も取調當時移動したること明確なるものは現在に依る其他は取調當時の現在に據る

第五條 報酬給料年金恩給を受けるもの月收拾五圓を一點とし以上五圓を増す毎に一點を加へ採點す但所得稅納稅者は本條の採點をなさず

第六條 住宅に對し一點を採點し住宅坪數は第一號表に依り建物の等級に依る課率を乘し之に土地の等級に依る課率を乘したる換算坪數とす

但住宅坪數は戸締り外を除き二階建は階下に比較し重に依る

第七條 借家者に對しては總計點の一割を減す

第八條 寺院は壇家五拾戸迄は六點とし以上拾戸を増す毎に壹點を加ふ

第九條 家族の名義に屬するもの及異姓名と雖も一戸内に同居し炊爨を共に戸數割納稅義務者と同經濟なるものは之を合算す

第一號表

土地住宅等級並換算課率表

等級	土	地	居	宅
標準	標準	標準	標準	標準
等級	等級	等級	等級	等級
課率	課率	課率	課率	課率

一等	二等	三等	四等	五等
土地臺帳等級 四十等より五十等迄	三十等より四十等迄	二十等より三十等迄	十等より二十等迄	五等以下
壹個參分	壹個貳分	壹個壹分	壹個四分	九分五等
貳拾五圓以上	拾圓以上拾五圓未滿	拾圓以上拾五圓未滿	五圓以上拾圓未滿	五圓未滿
壹個貳分	壹個壹分	壹個四分	九分	八分

第二號表 採點標準

戶數	報 酬 給 料 恩 給 年 金	農 作 反 別	居 宅 坪 數	縣 稅 雜 種 稅 中 物 件 稅	國 稅 營 業 稅	所 得 稅	地 租	種 目	單 位 標 準	點 數
壹 戶	月 收 拾 五 圓 以 上 金 五 圓 以 上 増 加 毎 二	五 反 步	貳 坪	牛馬車及自宅人力車各二 自轉車人力車荷車各二台	金 壹 圓	金 壹 圓	金 壹 圓	金 壹 圓	壹 點	壹 點
壹 點	貳 點	壹 點	壹 點	貳 點	壹 點	壹 點	壹 點	壹 點	壹 點	壹 點

第三號表 軍人等級表

官	等	等級	官	等	等級
大將	同相當官	十六等	中尉	同相當官	二十四等
中將	同相當官	十七等	少尉	同相當官	二十五等
少將	同相當官	十八等	准士官	同相當官	二十七等
大佐	同相當官	十九等	曹長	同相當官	二十八等
中佐	同相當官	二十等	軍曹	同相當官	二十九等
少佐	同相當官	二十一等	伍長	同相當官	三十等
大尉	同相當官	二十三等	上等兵	同相當官	三十一等

第五號表 乘數課率表

等級	點數	乘數課率	等級	點數	乘數課率
壹	五〇〇以上	一四〇	七	一五〇以上	五八
貳	四〇〇以上	一三〇	八	一二〇以上	五〇
參	三三〇以上	一二〇	九	一〇〇以上	四二・五
四	三〇〇以上	一〇〇	一〇	八五以上	三六・七
五	二五〇以上	八三	一一	七〇以上	三一・
六	二〇〇以上	六八	一二	六〇以上	二六・三

町村財務主任集會狀況

本月五、六日の二日間郡會議事堂に於て町村財務主任集會を開催す當日指示したる事項其の他左の如し

- 指示事項
- 一、自轉車鑑札取扱に關する件
 - 二、乘車鑑札返納に關する件

一三	五〇以上	二四・三	二五	一一	六・四
一四	四三以上	二二・二	二六	一〇	五・七
一五	三六以上	二〇・二	二七	九	五・
一六	三〇以上	一八・五	二八	八	四・三
一七	二五以上	一六・五	二九	七	三・七
一八	二二以上	一四・五	三〇	六	三・一
一九	一九以上	一三・	三一	五	二・五
二〇	一七以上	一一・五	三二	四	一・九
二一	一五以上	一〇・	三三	三	一・四
二二	一四	九・	三四	二	一・
二三	一三	八・	三五	一	七・
二四	一二	七・一	等外	一未満	三・三

三、縣役賦課率に關する件

注意事項

- 一、諸申告整理に關する件
 - 二、異動報告日稅計算書に關する件
 - 三、諸報告期限の件
 - 四、鑑札標札の整理に關する件
 - 五、振替用紙に關する件
 - 六、拂込期限に關する件
 - 七、分賦決議に關する件
- 協議事項
- 一、滞納を防遏する適切なる方法如何
 - 二、縣稅脫稅者を防止するに適當なる方法如何
 - 三、現行漁業稅、賦課に關する當業者負擔上の狀況如何
 - 四、縣稅戶數割の分賦を適切ならしむる爲め等差議定標準を調査する良法如何

辭令

阿武郡役所雇 青原 賴一
月俸拾貳圓五拾錢給與（二月二十八日）
同 岩崎 芳彦
月俸拾貳圓給與（二月二十八日）

阿武郡役所雇 弘中 俊夫
月俸九圓五拾錢給與（二月二十八日）

同 藤田 徳松
月俸八圓五拾錢給與（二月二十八日）

同 鬼武 太郡
月俸六圓給與（二月二十八日）

同 青原 賴一
月俸六圓給與（二月二十八日）

依願解雇（三月三十一日）

山口縣阿武郡立實科高等女學校助教諭 田中 タカヨ
大阪府へ出向を命ず（三月十三日）

山口縣阿武郡立實科高等女學校助教諭心得 田村 繁
山口縣阿武郡立實科高等女學校助教諭心得を命ず（三月二十八日）

月俸貳拾五圓給與
山口縣阿武郡立實科高等女學校敎諭心得 田村 繁

願に依り本職を解く（三月二十八日）
山口縣阿武郡立實科高等女學校敎諭 堀江 ウタコ

兼山口縣阿武郡立實科高等女學校舍監に任ず（三月二十八日）
加俸月額貳圓給與

山口縣阿武郡萩町立萩商業學校囑託敎員 田中 一郎
全 廣田 近三

全 吉田 祥朔

轉任校名	俸給	舊任校名	氏名
藏目喜校訓導八級下俸	明木校訓導	吉屋金熊	
明倫校訓導八級下俸	美福郡於福校訓導	鹽見菊代	
東京府出向	龜山校訓導	浦部好秀	

増俸

辭令日	増俸	前俸	校名	職名	氏名
三月廿一日	八級上俸	八級下俸	奈古	訓導	小田京藏
全	全	全	全	全	小野安三郎

退職

辭令日	校名	職名	氏名
三月十日	奈古	准訓導心得	藤田サト
全	大井	准訓導	小野俊助
全	德佐	訓導	玉井世履
全	龜山	全	吉岡タケコ
三月廿三日	奈古	准訓導心得	境半三
三月廿五日	小川	全	桂木トヲ
全	吉部	准訓導	橋清文
全	德佐	全	木橋俊子
三月卅一日	奈古	訓導	小田京藏

實業補習學校教員異動

新任

三月卅一日	奈古	訓導	小野安三郎
全	白水	准訓導	上田保次郎
全	嘉年	全	淺野英熊

轉任

辭令日	補習校名	職名	氏名
三月廿五日	篠生	農業科教授囑託	長谷川正介
全	椿東	体操科教授囑託	近藤節爾
三月卅一日	佐々並	全	佐内作一
全	全	全	井上恒吉
全	全	全	原田政信
全	全	全	藤井善治
四月二日	彌富	准訓導心得	寺田權一
四月五日	明木	訓導	小柳京介
全	地福	全	石田義雄

辭令日	轉任校	前任校	職名	氏名
三月卅一日	紫福	椿東	准訓導心得	岡棄熊

退職

辭令日	校名	職名	氏名
三月五日	見島	准訓導心得	河内壽之助
三月廿五日	小川	訓導	桂木トヲ
三月卅一日	奈古	全	小野安三郎
全	明倫	囑託	吉田祥朔

一、剛毅果斷以て善を擇ひ不屈不撓以て誘惑に抵抗し好て重責を負擔し厄難に漕ふて泰然たる者之を大人と謂ふ

一、井水涸れて後始めて水の貴きを知る

一、士に貴ふ所は其の節義あるを以てなり士に節義あるは獨り以て其の一身を立つるのみならず一國を維持し天下の安危を定むるに足るべし

一、盲人盲人を導かは兩者共に溝中に墜つへし

一、全世界を知るは易く己れを知るは難し

一、銅を以て鑑と爲せは衣冠を正すへ
く古を以て鑑と爲せは興替を知る
へく人を以て鑑と爲せは得失を明
にすへし

一、最も高さ處に達せんと望まは最も
低處より始めよ

一、其初如何に小なり共之を怠るへか
らす何となれば之を持続するとき

は遂に大ならしむへければなり

一、卓絶に達するの始は誤らざるに在
り

一、反復熟習せされは至て易き枝藝と
雖も成就すへからす反復熟習する
ときは至て難き學業と雖も成就せ
らるへし

一、芳名を得るは一生を要し之を失ふ
は只瞬間を要す

参 考 資 料

學 校 名		男	女	計	本 順	月 前	位 月
椿西	木佐	一〇〇、〇〇	九九、八七	九九、九三	一	二	八
德上	川佐	九九、八八	九九、六九	九九、八二	二	三	四
川並	佐上	九九、〇三	九九、七七	九九、二七	三	四	五
紫福	並上	九九、一二	九九、九七	九九、〇五	四	五	六
白英	福並	九八、三六	九八、六六	九八、九四	五	六	七
育英	英福	九八、五六	九八、一五	九八、七三	六	七	八
小部	英福	九八、二七	九九、五四	九八、七一	七	八	九
吉部	部英	九九、一四	九九、七八	九八、六四	八	九	一〇
地福	部英	九七、四五	九九、〇四	九八、一一	九	一〇	一一
奈古	福部	九八、六〇	九九、六五	九八、〇八	一〇	一一	一二
福生	古部	九七、六一	九九、八二	九八、〇五	一一	一二	一三
大多	生川	九七、三三	九九、三七	九八、〇一	一二	一三	一四
明井	磨生	九八、〇五	九九、一二	九七、九二	一三	一四	一五
田倫	井磨	九七、四四	九九、一〇	九七、八五	一四	一五	一六
福明	倫井	九六、六七	九八、一〇	九七、七五	一五	一六	一七
福田	明倫	九六、五六	九九、五三	九七、二七	一六	一七	一八

一、町村立高等小學校兒童出席步合調查表

大正七年三月分

目次

- 一、町村立小學校兒童出席步合調查表
- 二、大正六年第二學期小學校兒童休力比較表
- 三、山口島根各縣一部郡別所得額比較表
- 四、同營業稅額比較表
- 五、町村種痘成績調查表
- 六、阿武郡一部產業狀況調查表
- 七、大正七年山口縣隊區徵兵檢查日割表
- 八、陸軍歸休並滿期各兵下士適任證授與者調查表
- 九、同各兵卒善行證書附與者調查表
- 一〇、同各兵卒善行證書附與人名調查表

宇相福地小半紫育川本佐福立明越高篠多野三篠上
田島田福川田福英上間並川野木濱瀬生磨呂見目川

九五、三〇 九八、五三 九六、七五 九七、二一 九六、九〇 九七、二一 九七、三八 九七、二七 九八、一一 九九、一二 九七、七四 九七、七〇 九八、四五 九八、三九 九八、五三 九七、五四 九七、四一 九八、二二 九八、六三 九八、三六 九八、二二 九八、七八

九八、〇八 九八、五一 九八、二一 九七、七一 九八、三六 九八、六六 九八、五四 九七、四八 九七、六六 九七、一四 九八、〇三 九七、二一 九六、三〇 九六、六五 九七、二五 九六、八九 九六、六七 九六、八〇 九六、三一 九六、二二 九四、一一 九七、一四

九八、四九 九八、三三 九八、二九 九八、二八 九八、二八 九八、〇五 九八、〇四 九八、〇二 九八、〇〇 九七、八八 九七、八七 九七、四八 九七、四六 九七、四一 九七、二六 九七、一五 九六、九五 九六、八五 九六、七五 九六、四九 九六、三五 九六、二一

二七 二六 二五 二四 二三 二二 二一 二〇 一九 一八 一七 一六 一五 一四 一三 一二 一一 一〇 九 八 七 六

九 一八 三九 二四 二四 一九 三二 三三 三六 五〇 二八 三 一七 二二 二二 二一 二九 七 四 一〇 二

下大持鈴椿
小野川島坂川西

九八、六七 九八、二一 九九、七六 九九、一九 九九、三六

九八、五九 九九、三三 九九、四五 九八、八六 九八、七三

九八、六三 九八、七九 九八、八一 九九、〇三 九九、〇五

五 四 三 二 一

三 三 四 六 二 一

前月郡平均 本月郡平均 彌富 見島 嘉年 宇田 大島 生雲 三見 高溪 椿東

九六、七五 九六、九九 九二、三三 九三、七三 九一、四九 九一、五四 九三、九九 九五、〇三 九六、九〇 九六、七四 九八、四九

九六、八七 九六、一六 七七、七八 六八、四二 九〇、三五 九五、六九 一〇〇、〇〇 九七、九五 九三、七〇 九六、四九 九四、九二

九六、七九 九六、九三 八七、六三 八九、六八 九一、〇〇 九四、六七 九五、五七 九五、八六 九六、一九 九六、六七 九七、二〇

一 一 二七 二六 二五 二四 二三 二二 二一 二〇 一九

一 一 一八 二六 五 一六 二二 一九 一一 三 六

町村立尋常小學校兒童出席歩合調査表

大正七年三月分

町村名	學 校 名	種 別	尋 一	尋 二	尋 三	尋 四	尋 五	尋 六	尋 七
萩	明倫	小	二四、九〇	二〇、〇〇	二二、〇〇	一九、八〇	一九、五〇	一九、六〇	二四
椿	椿東	小	二五、五〇	二二、七〇	二四、〇〇	二〇、六〇	二二、三〇	一九、三〇	二〇
東	越ヶ濱	小	二五、四〇	二二、二〇	二四、〇〇	二〇、八五	二二、四〇	一九、〇〇	二〇
山	白樺	小	二六、四三	二二、九七	二四、二〇	二〇、八五	二二、三〇	一九、〇〇	二〇
三	木間	小	二四、四〇	二二、六〇	二四、二〇	二〇、八五	二二、三〇	一九、〇〇	二〇
明	三見	小	二四、八七	二二、三二	二四、二〇	二〇、八五	二二、三〇	一九、〇〇	二〇
佐々	佐々木	小	二四、五〇	二二、四七	二四、二〇	二〇、八五	二二、三〇	一九、〇〇	二〇
川	長高	小	二五、〇〇	二二、〇〇	二四、二〇	二〇、八五	二二、三〇	一九、〇〇	二〇
川	高瀬	小	二五、〇〇	二二、〇〇	二四、二〇	二〇、八五	二二、三〇	一九、〇〇	二〇
生	立野	小	二五、六三	二二、三三	二四、二〇	二〇、八五	二二、三〇	一九、〇〇	二〇
篠	篠生	小	二四、七〇	二二、〇〇	二四、二〇	二〇、八五	二二、三〇	一九、〇〇	二〇
生	持坂	小	二五、三三	二二、七七	二四、二〇	二〇、八五	二二、三〇	一九、〇〇	二〇
雲	生雲	小	二五、六〇	二二、四〇	二四、二〇	二〇、八五	二二、三〇	一九、〇〇	二〇
地	藏目	小	二五、九〇	二二、六三	二四、二〇	二〇、八五	二二、三〇	一九、〇〇	二〇
福	福喜	小	二七、一五	二三、五九	二四、二〇	二〇、八五	二二、三〇	一九、〇〇	二〇

學校名	男	女	計	本 順	月	前 位	月
龜山	九七、一九	九四、九七	九六、二一	二八	二八	二六	二六
明倫	九六、七三	九五、四八	九六、一三	二九	二九	二五	二五
大井	九六、九八	九四、〇三	九五、四七	三〇	三〇	二七	二七
白水	九五、七七	九四、七九	九五、三一	三一	三一	三五	三五
嘉年	九六、六七	九三、八九	九五、二七	三二	三二	一八	一八
椿東	九五、三七	九四、八八	九五、一三	三三	三三	一六	一六
德佐	九五、一六	九四、三四	九四、七五	三四	三四	三一	三一
藏喜	九三、五〇	九六、〇九	九四、六〇	三五	三五	三八	三八
奈古	九五、三二	九三、八九	九四、六〇	三六	三六	三〇	三〇
長高	九五、二九	九三、六五	九四、五八	三七	三七	一五	一五
生雲	九五、一九	九二、八七	九四、〇一	三八	三八	三七	三七
高俣	九三、一六	九四、六四	九三、九三	三九	三九	四〇	四〇
吉部	九三、〇〇	九〇、八五	九一、八五	四〇	四〇	四二	四二
見島	九二、四七	九〇、八六	九一、七九	四一	四一	四二	四二
彌富	八三、九八	八七、八九	八五、六七	四二	四二	四一	四一
本月郡平均	九六、七三	九六、二四	九六、四一	一	一	一	一
前月郡平均	九五、三五	九四、七四	九四、七六	一	一	一	一

二、大正六年度第二學期小學校兒童體力比較表

(其一) 尋常科(男)

町村名		學 校名	種 別	尋	一 順位	尋	二 順位	尋	三 順位	尋	四 順位	尋	五 順位	尋	六 順位
萩	明倫	二七、二〇	秒	二二	二二、七〇	秒	二	二四、〇〇	秒	一六	二三、四〇	二四	二二、三〇	一三	一九、六〇
椿郷	椿東	二七、八〇		一六	二三、〇〇		三	二三、一〇		一〇	二三、四〇	一四	一九、九〇	二	二〇、二〇
東分	越ヶ濱	二六、二〇		二二	二六、六〇		三七	二七、三〇		三三	二五、八〇	三五	二四、三〇	三三	二四、三〇
椿	椿西	二六、五五		八	二四、二三		六	二三、〇〇		三	二〇、六一	一	四〇、〇〇	三六	三九、八四
山田	白水	二七、九〇		一七	二六、二〇		二三	二四、四〇		二	二三、七〇	一九	二三、一〇	三五	三三、九〇
三見	木間	二三、五〇		一	二三、一〇		一	二二、七〇		二	二〇、七〇	二	一九、九〇	二二	一八、八〇
明木	三見	二六、三六		六	二五、五三		一六	二四、四四		三三	二二、三七	六	二二、一九	二	二三、二〇
佐々並	明木	二六、一九		四	二四、三六		八	二三、五〇		一四	二三、二四	一〇	二〇、三八	四	一九、五〇
川上	長高	二五、〇〇		三	二四、七一		九	二三、二六		二二	二四、二七	二七	二二、六一	一七	二三、七五
立野	野呂	二六、五〇		七	二六、〇〇		二二	二二、〇〇		三〇	二四、〇〇	二六	二二、〇〇	三〇	二三、〇〇
篠生	運動場ナキ爲メ施行セズ	二七、五〇		一三	二五、〇〇		一〇	二五、五七		二六	二三、八〇	二〇	二〇、五〇	一六	二〇、〇〇
		二七、七五		一〇	二五、八五		一九	二四、三〇		二〇	二四、〇〇	二六	一九、五〇	一	二二、六〇

相島	二五、八〇	二三	二三、二〇	一三	二三、〇〇	一五	二〇、六〇	一五	一八、五〇	三	一八、〇〇				
見島	二七、三四	三三	二五、一〇	元	二三、三〇	三	二三、〇〇	三	二二、七〇	三三	二〇、七〇	二	二〇、七〇	三	二〇、七〇
見島	二五、六〇		二五、三〇	元	二三、三	三	二二、五四	三	二〇、九三		二〇、五九	二	二〇、五九	三	二〇、五九

大正六年度第二期小学校児童体力比較表

(其二)

尋常科(女)

町村名	學校名	種別	尋一	順位	尋二	順位	尋三	順位	尋四	順位	尋五	順位	尋六	順位
徳佐	徳佐	徳佐	二七、四〇	三四	二四、七五	二七	二二、〇五	一七	二一、〇八	一七	二〇、九三	二六	二〇、四四	二一
嘉年	嘉年	嘉年	二五、二六	一四	二二、二〇	五	二一、〇四	五	二一、五四	三三	一八、八一	四	一八、六四	五
高俣	高俣	高俣	二六、三六	三元	二五、三五	三〇	二四、〇〇	三二	二三、五三	三四	二三、五〇	三五	二一、五〇	三〇
吉部	吉部	吉部	二九、〇九	四〇	二四、五七	二六	二二、六二	二五	二三、〇〇	二六	二〇、二三	一七	二三、五〇	三一
福川	福川	福川	二六、三五	三元	二五、六〇	三三	二三、三〇	二一	二二、九五	二二	二〇、一〇	一五	二〇、〇九	一八
紫福	紫福	紫福	二六、四四	三〇	二四、四七	三三	二二、九五	一四	二〇、三三	二五	一九、五四	一〇	一九、五三	一三
大井	大井	大井	二六、〇〇	二四	二四、〇〇	一八	二二、〇〇	一五	二一、〇〇	一六	二二、〇〇	三四	二二、〇〇	三三
奈古	奈古	奈古	二五、五〇	一七	二五、四三	三三	二二、一一	六	二〇、五八	一二	二〇、四四	二〇	二〇、九一	二四
宇田郷	宇田郷	宇田郷	二五、五三	一八	二三、五一	六	二〇、六六	四	二〇、四一	九	一九、八八	一二	一九、一〇	二八
福賀	福賀	福賀	二五、三二	一五	二四、四三	三三	二二、七一	一一	二一、四六	二二	二〇、二九	一八	二二、〇九	二六
須佐	須佐	須佐	二六、四〇	二七	二六、〇〇	三六	二三、一〇	三〇	二三、〇〇	二六	二〇、一〇	一五	一八、七〇	二六
彌富	彌富	彌富	二五、七〇	二二	二四、二〇	二〇	二四、〇〇	三三	二三、六〇	二九	二二、二〇	二八	二〇、二〇	一九
小川	小川	小川	二五、〇九	二一	二三、五三	二五	二三、〇八	一九	二二、〇〇	一六	二〇、八〇	二四	一九、〇〇	七
田万崎	田万崎	田万崎	二六、一三	三七	二三、三八	一五	二二、六七	二六	二二、一三	一九	二〇、〇〇	一四	一九、七一	一五
大島	大島	大島	二六、一〇	二五	二六、〇〇	三八	二二、七〇	一〇	二二、〇〇	一六	二〇、五七	二三	二〇、五〇	二三
小川	小川	小川	二七、七〇	三三	二五、九〇	三七	二四、三〇	三三	二三、八〇	三一	二〇、六〇	二二	一八、六〇	四
下小川	下小川	下小川	二五、一〇	二三	二三、九〇	三六	二二、三〇	三三	二二、九〇	三五	二〇、〇〇	三七	二〇、八〇	三三
多磨	多磨	多磨	二四、七六	七	二三、一五	一九	二一、三五	七	二〇、七〇	一四	一九、三六	七	二〇、二〇	一九

小川	小川	二九、〇〇	二五	二七、七〇	三四	二五、〇〇	二五	二三、三〇	一〇	二一、〇〇	一〇
上小川	上小川	二六、三〇	二三	二六、四〇	二四	二四、四〇	二二	二四、一〇	三二	二三、三〇	二一
下小川	下小川	二七、七〇	一四	二六、八〇	二七	二五、九〇	二九	二四、八〇	三三	二四、五〇	二九
田万崎	多磨	三〇、〇〇	二六	二五、四〇	一五	二四、〇〇	一六	二二、一〇	四	二二、〇〇	九
六島	大島	二七、七〇	一四	二四、三〇	七	二三、九一	七	二三、六八	一八	二二、五〇	一五
見島	相島	二六、〇〇	一八	二三、五〇	四	二三、二〇	一一	二二、二〇	九	二二、三〇	一三
平	均	三〇、七〇	二九	二七、四〇	三	二五、三〇	二六	二五、一〇	三四	二三、五〇	二七
見島	均	二六、〇三		二五、六一		二四、〇九		二三、一八		二三、二〇	

大正六年度第二期小學校兒童体力比較表

(其三) 高等科 (男女)

町村名	學 級 別	高一男	順位	高一女	順位	高一男	順位	高一女	順位
萩	明倫	四三、二〇	二六	四四、九〇	二〇	四七、八〇	二四	四七、八〇	二四
椿郷東分	椿東	三六、五〇	四	四四、七〇	一八	四〇、五〇	一三	四〇、五〇	一三
山田	白椿西	三八、二五	一一	三七、五三	一三	三九、五〇	一四	三九、五〇	一四
三見	三見	四一、〇〇	二三	四〇、五〇	二二	四四、七〇	一八	四四、三〇	二二
明木	明木	三六、九二	五	三八、七七	一六	四二、七五	二二	四二、〇〇	一八
佐々並	佐々並	三七、五〇	七	三三、四六	一五	四〇、八〇	一六	四〇、八三	一八
川上	川上	三九、一四	一三	四〇、〇〇	一九	四四、七七	一九	四六、三六	二三
篠生	篠生	三六、〇〇	八	三六、〇〇	六	四二、〇〇	九	四四、〇〇	一六
生雲	生雲	三六、三一	一〇	三六、二三	八	四五、五五	二三	四七、〇〇	二三
生雲	生雲	四〇、五〇	一九	四〇、一〇	二〇	四六、二〇	二五	四五、七〇	一九

町村名	學校名	種別	尋	一	順位	尋	二	順位	尋	三	順位	尋	四	順位	尋	五	順位	尋	六	順位
篠生	篠目	持坂	生雲	藏目喜	地福	德佐	龜山	嘉年	高俣	吉部	福川	半田	紫福	大井	奈古	宇田郷	福賀	須佐	彌富	鈴野川
二六、三〇	二七、二〇	二六、〇〇	二六、五七	三三、三三	三一、三九	二七、〇六	三〇、〇五	二五、〇〇	三一、四〇	二八、一七	三〇、〇〇	二七、五〇	二六、八九	二六、六七	二六、一〇	二六、三〇	三三、二五	二七、七三	三〇、二五	
五	一二	一八	二三	三三	三四	一一	二七	三	三三	二〇	二六	一三	二四	九	一九	三三	一五	二六	二六	
二三、〇〇	二七、五〇	二五、六〇	二六、八四	二五、六八	二六、四九	一五、一〇	二六、八八	二四、〇〇	二六、〇〇	二六、四四	二四、〇〇	二七、二七	二五、二六	二五、一二	二六、九〇	二五、九〇	二五、三一	二七、八六	二七、八六	
三	三三	一七	二八	一八	二六	一一	二九	五	三六	二五	五	三一	一三	一二	三〇	二二	一四	三五	三五	
二三、九〇	二三、八〇	二三、三〇	二四、二〇	二三、七五	二三、〇四	二二、二九	二六、〇〇	二三、〇〇	二五、〇〇	二三、八九	二四、〇〇	二四、六九	二三、七二	二四、〇〇	二四、四〇	二四、五〇	二五、〇〇	二五、四〇	二五、四〇	
六	一七	一三	一九	一六	九	四	三〇	八	二五	五	一八	二四	一五	一八	二一	二三	二五	二七	二七	
二、五〇	二、〇〇	二、一〇	二四、〇〇	二、一一	二、六七	二四、四一	二六、八八	二三、二七	二三、〇〇	二三、三四	二三、〇〇	二四、七一	二三、五〇	二三、八三	二三、一〇	二三、七〇	二二、六六	二四、六〇	二四、五〇	
七	三	三	二六	一五	二九	二九	三六	二	三	三	三	三	一五	二	三	二五	一七	三一	三〇	
二〇、四〇	二、五〇	二、八〇	二三、五四	二、六七	二、四一	二〇、八〇	二五、一一	二二、八〇	二三、〇〇	二〇、一七	二三、〇〇	二〇、九一	二二、五八	二三、二六	二二、二〇	二二、七〇	二二、九一	二三、〇九	二三、五七	
五	一五	二〇	二六	一八	二四	七	三五	二	三三	三	三〇	八	一六	二六	二	一九	三	二四	二九	
二三、〇〇	二〇、三〇	二〇、五〇	二二、七八	二、六五	二〇、八一	一九、四七	二五、五五	二三、〇〇	二二、九五	二二、四五	二三、〇〇	二二、四〇	二〇、二一	二二、〇五	二〇、八〇	二三、二〇	二二、六二	二二、五四	二三、六〇	
二六	七	七	一八	一七	九	二	三〇	二六	一九	三	二〇	二	三	六	一	八	一六	一四	二五	

郡名	戶數	納稅人員數	所得金額	納稅者一人當額	戶數	納稅人員數	所得金額	納稅者一人當額
阿武	二、六四三	一、三二一	七三三、八三八	五四〇	二、六四三	一、三二一	七三三、八三八	五四〇
佐波	一七、〇五五	二、〇四〇	一、一七一、七七七	五七四	一七、〇五五	二、〇四〇	一、一七一、七七七	五七四
吉敷	二、三九九	三、二〇八	一、七九六、九〇三	五五八	二、三九九	三、二〇八	一、七九六、九〇三	五五八
美禰	八、〇六九	一、〇七二	四五六、九五〇	四二六	八、〇六九	一、〇七二	四五六、九五〇	四二六
大津	九、一四〇	九七五	四五六、七八七	四六八	九、一四〇	九七五	四五六、七八七	四六八
美濃	一〇、七七六	五八〇	三二〇、六三五	五三六	一〇、七七六	五八〇	三二〇、六三五	五三六
鹿足	六、五〇一	四七五	四九三、八五六	一、〇四〇	六、五〇一	四七五	四九三、八五六	一、〇四〇

四、山口、島根各縣一部郡別營業稅額比較表

大正六年

郡名	戶數	納稅人員數	所得金額	納稅者一人當額	戶數	納稅人員數	所得金額	納稅者一人當額
地福	三七、〇〇	四、〇八三	三六、〇〇	四、〇〇	三七、〇〇	四、〇八三	三六、〇〇	四、〇〇
德佐	四〇、八三	二〇、七七	四〇、〇〇	二、〇〇	四〇、八三	二〇、七七	四〇、〇〇	二、〇〇
嘉年	二〇、七七	一八、〇〇	二〇、〇〇	二、〇〇	二〇、七七	一八、〇〇	二〇、〇〇	二、〇〇
高俣	一九、〇〇	一八、九五	一八、〇〇	二、〇〇	一九、〇〇	一八、九五	一八、〇〇	二、〇〇
吉部	一八、九五	一八、〇〇	一八、〇〇	二、〇〇	一八、九五	一八、〇〇	一八、〇〇	二、〇〇
福川	一九、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	二、〇〇	一九、〇〇	一八、〇〇	一八、〇〇	二、〇〇
紫井	四二、四〇	三九、九〇	四二、〇〇	二、〇〇	四二、四〇	三九、九〇	四二、〇〇	二、〇〇
大井	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇
奈古	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇
宇田	四二、四〇	三九、九〇	四二、〇〇	二、〇〇	四二、四〇	三九、九〇	四二、〇〇	二、〇〇
福賀	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇
須佐	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇
彌富	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇
小川	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇
田磨	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇
六島	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇
見島	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇
平均	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇	三九、九〇	三九、九〇	三九、〇〇	二、〇〇

三、山口、島根各縣一部郡別所得額比較表

大正六年

[illegible][illegible]

家畜

年次	種別	新造	廢用船數	現在漁船
大正五年	五噸又八五	二三	一五、九二八	二、三三七
大正六年	十石未滿	二二〇	二、四七五	二、三三一
比較增減	全	三三增	五、五五七減	二六

漁船

種別	數量	價值	額	比較增減
朝鮮海	一九、六六七	一八二、五三〇	二四七、七九三	五、一二六增
附近	五、三〇〇	五〇、八〇〇	六〇、〇〇〇	一、七〇〇增
其他	一九、六六七	一八二、五三〇	二四七、七九三	五、一二六增

遠洋漁業

數量	價值	額	比較增減
二、七二六、七六七	八四〇、〇四七	二、六四九、二六一	九七、三六六減
二、七二六、七六七	八四〇、〇四七	二、六四九、二六一	九七、三六六減

漁獲物

六、阿武郡一部産業狀況調查表

町村別	第一回	第二回	第三回	第四回	合計
宇田村	一	一	一	一	四
郷村	一	一	一	一	四
福賀村	一	一	一	一	四
須佐村	一	一	一	一	四
彌富村	一	一	一	一	四
小川村	一	一	一	一	四
崎田村	一	一	一	一	四
六島村	一	一	一	一	四
見島村	一	一	一	一	四
合計	一	一	一	一	四

年次	種別	頭數	年內生産	全上價額
大正五年	牛	一〇、三三三	一、五三三	二五、九〇四
大正六年	牛	九、八六三	一、六九〇	五〇、六〇七
増比	減	四七〇	一六七	二四、七〇三
大正五年	馬	一、九六三	一、九六三	一、九六三
大正六年	馬	一、九〇三	一、九〇三	一、九〇三
増比	減	六〇		

家畜市場

年次	市場開設數	出場頭數	販賣頭數	販賣價額
大正五年	一〇八	三、四〇五	一、六〇七	八五、六六七
大正六年	一二〇	二、八四一	一、七〇四	八九、八〇一
比較増減	増	増	増	増

酒類

年次	精量	酒類	燒酎	酎	計
大正五年	九、五〇一	二九六、七三〇	一五三	九、八八三	四〇九、〇八八
大正六年	一一、八七〇	五八八、八三三	一八八	一三、八三六	六〇二、六五九
比較増減	増	増	増	増	増

七、大正七年山口聯隊區徵兵検査日割表

徵募區	種別	徵兵署	検査日	検査日數	抽籤日
佐波郡	出雲村小學校	防府町成海寺	自四月二十一日起至四月二十二日	二日	四月二十九日
熊毛郡	平生町小學校	長穗村教會所	自五月十一日起至五月十二日	二日	五月八日
都濃郡	德山町無量寺	萩町郡會議事堂	自五月十三日起至五月十八日	六日	五月二十日
阿武郡	深川村郡集會所	伊佐村小學校	自五月二十九日起至五月三十一日	三日	五月三十一日
大津郡	伊佐村小學校	小郡町小學校	自六月八日起至六月十一日	三日半	六月六日
美禰郡	小郡町小學校		自六月十四日起至六月二十日	七日	六月二十二日
吉敷郡					

備考 一、検査及抽籤開始ハ午前八時トス
二、令錫十二條志願者、砲兵工長候補者志願者及戸山學校軍樂生徒ノ志願者ノ身体検査ハ當該町村ノ徵兵検査當日之ヲ施行セラル
三、六週間現役兵相當者ノ身体検査ハ五月二十九日阿武郡萩町徵兵署ニ於テ施行セラル

德防山萩					熊都佐吉美大阿				
山口府					毛濃波敷禰津武計				
町町町町					郡郡郡郡郡郡				
五	一	二	二	二	五	一	一	一	六
一	七	一	一	三	八	三	〇	九	三
					六	三	〇	四	三
					四	一			
一				一	三	一	一		
					七	二			
一	一				一	〇	三	一	
四		二	一	一	二	九	三	五	二
五	一	一	二	一	六	三	九	一	四
七	八	三	二	四	三	七	〇	四	一

九、歸休並滿期各兵卒善行證書附與者調查表

大正六年

一〇、善行證書附與人名調查表

大正六年
山口歩兵第四十二聯隊

德防山萩	町別	熊毛郡	都濃郡	佐波郡	吉敷郡	美禰郡	大津郡	阿武郡
計口府山 町町町町	兵科	毛郡	濃郡	波郡	敷郡	禰郡	津郡	武郡
	歩兵	計	計	計	計	銃	計	計
六三三	騎兵	二六	五	一〇	一三	七	一五	一四
	野砲兵	蹄	蹄					
	重砲兵	蹄	蹄					
一一	輜重兵	蹄						
	衛生部	磨						
七四三	計	一九	一〇	一五	二五	一一	一一	一二

八、歸休並滿期各兵下士適任證書授與者調查表

大正六年

全	地	全	全	全	全	生	全	篠	全	全	全	全	全	全	全	全	全	川	全	佐々	全
	福					雲		生									上		並		
	村					村		村									村		村		
全	全	全	全	全	步	步	全	全	全	全	步	步	步	全	全	步	全	全	全	全	步
					一	上					一	上	一			上					一
津	山	河	佐	伊	郡	有	岡	清	伊	伊	來	厚	山	兒	藤	岡	木	神	大	大	阿
田	根	村	々	藤	司	田	村	水	藤	藤	島	東	根	玉	原	崎	村	崎	石	石	部
耕	淺	久	木	藤	熊	官	市	増	傳	甚	升	定	只	福	音	菊	宇	熊	健	種	權
助	熊	一	治	七	郎	郎	松	一	允	一	藏	一	介	松	松	郎	一	郎	一	一	一
全	全	紫	全	全	全	全	福	全	全	吉	全	高	全	嘉	全	全	全	德	全	地	
	福						川			部		侯		年			佐		福		
	村						村			村		村		村			村		村		
步	步	全	步	步	步	步	全	全	步	步	步	步	全	步	步	步	步	全	步	步	伍
一	上		一	上	一	上			一	上	一	上		一	上	上	一		上	一	勤
																					上
三	岡	山	白	田	白	三	藤	中	吉	末	木	藏	河	井	栗	石	伊	鶴	木	内	水
輪	根	神	中	神	村	山	原	村	成	橋	田	野	上	田	川	山	岡	村	山	津	
政	政	眞	八	市	權	谷	勤	宗	安	幸	幸	眞	健	英	雄	進	吉	人			
輔	潔	一	吉	熊	郎	助	郎	作	一	英	熊	三	郎	一	吉	市	一	雄	進	吉	人

全	全	全	全	全	全	椿	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	萩	町
						郷															村
						東															
						分															
						村															
全	步	步	步	步	步	步	步	步	步	步	步	步	步	步	全	全	步	步	步	全	官
一	上	一	上	一	上	一	上	一	上	一	上	一	上	一			一	上	一	上	等
土	栗	伊	河	上	齊	田	後	加	河	花	三	大	竹	田	坂	西	山	神	土	氏	
田	田	藤	野	田	藤	村	藤	藤	村	好	谷	內	邊	田	村	田	村	肥			
兵	俊	重	定	清	民	胤	和	新	秀	正	千	鶴	七	修	菊	常	正	壯	健		
助	春	義	郎	藏	藏	次	夫	郎	一	市	一	進	藏	祐	郎	平	雄	介	三	名	
全	全	全	明	全	全	全	全	全	全	三	全	山	全	全	椿	全	全	全	椿	町	
			木							見	田				郷				郷	村	
			村							村	村				東				東		
															分				分		
步	步	全	步	全	全	全	全	步	步	步	步	全	步	全	步	步	全	步	步	官	
上	一	上						一	上	一	上	一	一	上	上	上	上	上	上	等	
阿	古	野	齋	山	原	幸	大	柴	神	原	河	戎	田	神	佐	金	淺	阿	秋	氏	
部	屋	村	藤	下	田	德	崎	田	田	田	村	屋	村	々	崎	野	武	芳			
勝	房	富	太	兼	久	雄	恒	利	吉	榮	菊	末	並	龜	勘	甚	茂	郎	名		
吉	熊	一	一	一	一	介	一	吉	稔	藏	作	松	郎	薰	市	一	作	雄	吉		

阿武郡報第二十一號 大正七年四月十五日發行 ◎大正六年十二月十九日第三種郵便物認可 ◎每月一回十五日發行 一部代價 金拾錢

彌富村	全	全	全	全	全	須佐村	全	全	福賀村	全	宇田郷村	全	全	全	全	奈古村	全	全	大井村	町
全	步	步	全	全	全	全	步	全	步	全	全	全	步	步	全	全	全	步	步	官
一	上						一	上					一	上				一	上	等
小見山隼	宮内	伊藤	津守	大庭	津畑	吉武治	戸成	中成	松原	藤原	茂村	末益	藤村	松原	三好	小野	岡田	三井	河野	氏
滿登	政亮	朝喜	喜平	高治	右工門	光雄	壽雄	繁樹	好助	喜一郎	榮次	熊吉	甚作	五良	信助	三吉	虎次	滿次	名	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	田万崎村	全	全	全	小川村	全	彌富村	町
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	步	全	全	步	步	全	步	官
													一			一	上	一		等
大島	原野	金子	山根	池部	小池	西村	高山	山本	大石	金子	吉岡	大山	須賀	中本	大郷	福山谷	福島	氏		
虎	孫	鶴	重	三	八	千	五	新	信	梅	寅	仲	兼	福	幸	丈	安	名		
松市	松藏	郎	郎	吉	吉	式	忠	郎	一	治	市	助	市	植	守					